



日本学術会議主催公開講演会

日本語の将来



主催 日本学術会議・言語系学会連合 後援 国立国語研究所

2010年9月19日(日) 13:00~17:00

- 司会・趣旨説明 影山 太郎 国立国語研究所所長・言語系学会連合運営委員長
- ◆ あいさつ 庄垣内 正弘 京都産業大学客員教授・日本学術会議会員
- 日本語の将来を考える視点―「言語資源論」の観点から―
金水 敏 大阪大学教授・日本学術会議連携会員
- 対人コミュニケーションから見る日本語の将来―“敬”か“親”か―
滝浦 真人 麗澤大学教授
- ITコミュニケーションから見る日本語の将来―メール・ブログ・ツイッター―
荻野 綱男 日本大学教授
- 方言の多様性から見る日本語の将来―標準語ばかりでよいのか―
木部 暢子 国立国語研究所教授・日本学術会議連携会員
- 英語教育から見る日本語の将来―グローバル世界を生きる―
鳥飼 玖美子 立教大学教授・日本学術会議連携会員
- ◆ 総合討論

会場 日本学術会議 講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5出口

定員 300名・参加費 無料

お申し込みは日本学術会議ウェブサイトより
(定員に達し次第、受付終了)

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>



●お問い合わせ先

日本学術会議事務局企画課 公開講演会担当 (〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34)

電話:03-3403-6295 / ファクシミリ:03-3403-1260